

平成26年度：危機管理・防災教育科 「第16回トップマネジメントコース」

～ 開催のご案内 ～

日時：平成26年7月23日（水） 9：30 ～ 16：30

会場：ホテルグランドヒル市ヶ谷

東館3階「瑠璃西の間」（東京都新宿区市ヶ谷本村町4番1号）

消防大学校では、地方公共団体の首長等を対象に大規模災害発生時における対応能力を習得することを目的とした「トップマネジメントコース」を開催いたします。

本コースは、過去の災害を例に災害発生時の初動対応、情報のコントロール及び災害情報の処理などを通してリーダーシップをいかに発揮するかを、それぞれの分野でご活躍されている講師の皆様にご講演いただきます。昨今は、地方公共団体における危機管理体制の一層の充実強化が求められております。この機会に是非御参加下さいますようお願い申し上げます。

受講対象者 都道府県知事、市町村長、都道府県の危機管理担当の副知事、部長、危機管理監等の職にある者、市町村の危機管理担当の副市長、又は、その直下の管理職にある者

－ 次 第 －

第1部：危機管理概論

講演「自然災害に対する危機管理」 （140分）

講師：吉井博明 元東京経済大学コミュニケーション学部教授

〔消防審議会会長、原子力安全委員会専門委員などを歴任〕

ランチョンセミナー【昼食を含む】

講演「災害時の応急対応支援システムの紹介」 （40分）

講師：細川直史・遠藤真 消防庁消防大学校消防研究センター

第2部：危機管理演習

講演「大規模地震時の初動対応をイメージする 一状況予測型図上訓練を用いて一」
（100分）

講師：日野宗門 Blog 防災・危機管理トレーニング主宰

〔京都大学大学院工学研究科博士課程修了。防災図上訓練、自治体の危機管理、地域防災計画などを専門に防災分野の研究に従事〕

第3部：防災対策

講演「減災の考え方に基づく大震火災対策のあり方」 （90分）

講師：室崎益輝 神戸大学名誉教授・消防審議会会長

〔内閣府中央防災会議専門委員会委員、ひょうご震災記念21世紀研究機構参与などを歴任〕

申込み期限	： 平成26年7月4日（金）
申込方法	： 各都道府県 消防防災主管課 又は 消防大学校担当者までご連絡ください。
参加費	： 5,000円（昼食等含む）
担当・照会先	： 消防大学校教務部 久富 電話 0422-46-1712 FAX 0422-46-1988 メール j.hisatomi@soumu.go.jp

危機管理・防災教育科 トップマネジメント コース(第15回)

トップマネジメントコースは、地方公共団体の首長等を対象として大規模災害発生時における対応能力を習得することを目的に実施しています。当講習会は平成17年から行っており、今回で15回目となりました。

今年度は、7月23日にホテルグランドヒル市ヶ谷（東京都新宿区）において、市町長をはじめとする地方公共団体における危機管理の責任的立場にある者110名の受講の下、開催しました。

本コースは3部構成により行いました。第1部は、東京経済大学の吉井博明教授による「自然災害に対する危機管理～初動対応の成功要件と災害情報～」と題する講義を行いました。本講義では、災害時の情報のコントロール及び災害情報の処理を通してリーダーシップをいかに発揮するかを過去の多数の災害を例に教授いただきました。

第2部は、Blog防災・危機管理トレーニング主宰の日野宗門先生による危機管理演習「状況予測型の図上訓練」

を実施しました。本演習では、震度6強程度の地震が発生したとの想定を付与し、地震発生直後から6時間程度までの初動対応について検討及び整理をしました。

さらに、第3部では、平成23年3月の東日本大震災の被災地となった岩手県陸前高田市の戸羽太市長を講師に迎え、「陸前高田の被災状況と今、そして復興へ」と題して大規模地震による被災経験を基に首長としての対応及び役割等について熱く語っていただきました。

すべての講義・演習においても受講者は熱心にメモをとりながら聴き入っていました。受講者からは、「災害発生時の初動の心構え、留意点について認識を得ることができた。」、「予測、想定的重要性を理解、認識した。」、「被災地の現状や課題について理解が深まった。」等の感想が多く寄せられました。

今後、本コース受講者が、その役割を認識しつつリーダーシップを発揮され、各地方公共団体における危機管理体制の一層の充実強化が期待されます。

